

海賊対処の第26次派遣部隊がソマリア・アデン湾に向け出港

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第26次隊）出国行事の様相 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のための第26次派遣水上部隊の出港式典が11月20日に開催され、護衛艦「きりさめ」が佐世保基地(長崎)から出港した。

同部隊は、第8護衛隊司令(小林智典1等海佐)の指揮の下、護衛艦「きりさめ」(江畑泰孝艦長)が任務にあたる予定。乗組員約200名並びに海上保安官8名により編成されており、現地到着次第、先に派遣された第25次部隊の護衛艦「いなづま」・「すずつき」に代わり、護衛活動を開始することになる。

出港式典では、宮澤博行防衛大臣政務官及び自衛艦隊司令官重岡康弘海将より派遣隊員への訓示等が述べられた。

当協会からは(株)商船三井 根本正昭専務執行役員他5名が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

(海務部 大森)

出国行事



派遣隊員に訓示する宮澤防衛大臣政務官



派遣隊員に訓示する重岡自衛艦隊司令官



式典に臨まれる当協会代表 株式会社商船三井根本専務執行役員（前列右から二人目）



日本船主協会からの花束贈呈



「きりさめ」に乗艦する派遣隊員



出港する「きりさめ」



横断幕と共に、護衛艦を見送る日本船主協会関係者